

## 2018 年度調査結果

<http://www.pv-hiroshima-soka.jp/activity/survey/results-2018/>

1994 年から開始した「学生平和意識調査」。広島市で開催された「94 年アジア競技大会」を前に、アジア留学生へ平和調査をおこなったことがきっかけでした。以来、日本人学生へ、中国地方全体へと広げ、被爆 73 年を迎えた 2018 年で第 23 回目を数えました。

調査日：2018 年 5 月 1 日～6 月 30 日／対象者：中国地方の大学に通う学生／方法：対面式とインターネット入力方式の併用／配布枚数 1000 枚／回収数 943 枚（有効回答率 94%）／ネット入力 262 件／性別：男性 556 名（59%）、女性 387 名（41%）、計 943 名／出身地：広島 506 名（54%）、岡山 204 名（22%）、山口 53 名（6%）、鳥取 21 名（3%）、島根 31 名（3%）、その他 128 名（14%）

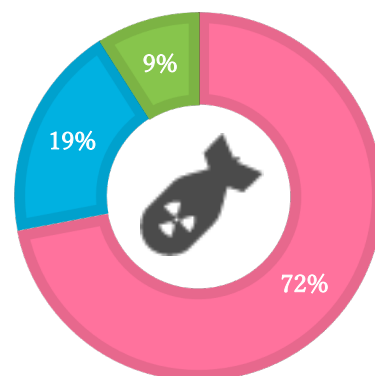
Q1

第 2 次世界大戦中に、原子爆弾（原爆）が広島、長崎に投下されました。広島、長崎に原爆が投下された日はいつですか。

広島

1945 年 8 月 6 日が正答

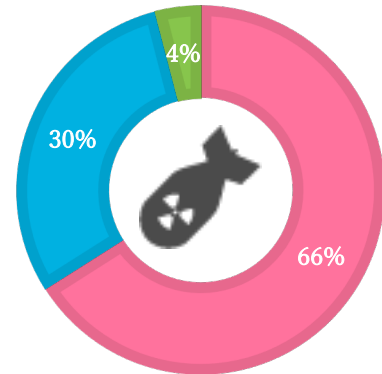
■ 正答 ■ 誤答 ■ 無回答



## 長崎

1945年8月9日が正答

■ 正答 ■ 誤答 ■ 無回答

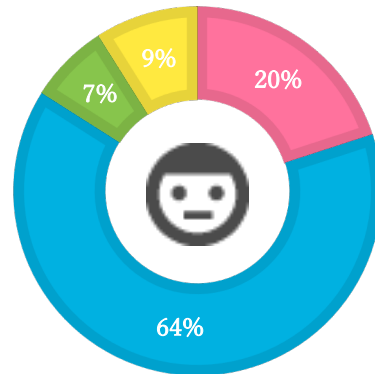


昨年からは正答率は増加したものの、オバマ元米大統領訪問の2016年（正答率75%）からは、減少傾向が続いています。

## Q2

あなたは広島や長崎の原爆資料館や死没者祈念館に訪れたことがありますか。

■ 両方ある  
■ 広島だけある  
■ 長崎だけある  
■ 両方ともない

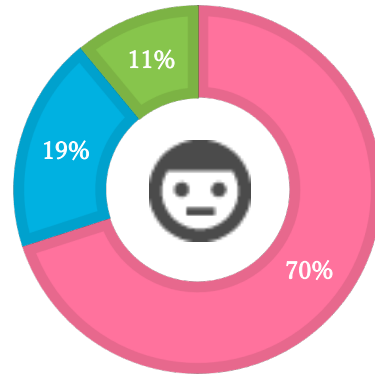


全体の91%が原爆資料館を訪れていることが分かります。明年は、広島原爆資料館が全面リニューアルオープンされるため、増加に期待をしたいところです。

### Q3

あなたは被爆者の被爆体験を直接聞いたことがありますか。

- ある
- あるが記憶にあまりない
- ない

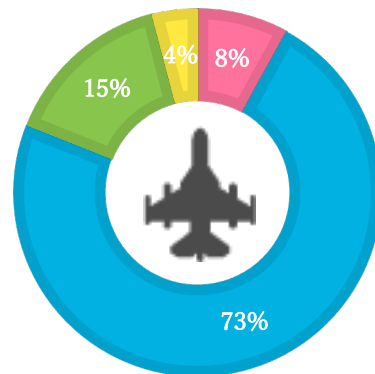


聞いたことがあり記憶にも残っている学生が初めて 70%に到達。被爆体験を語って下さる方が少なくなるなか、学生には被爆者の魂の叫びが、確かに届いていると期待したいです。

### Q4

今後・戦争・紛争で核兵器の使用がありうると思いませんか。

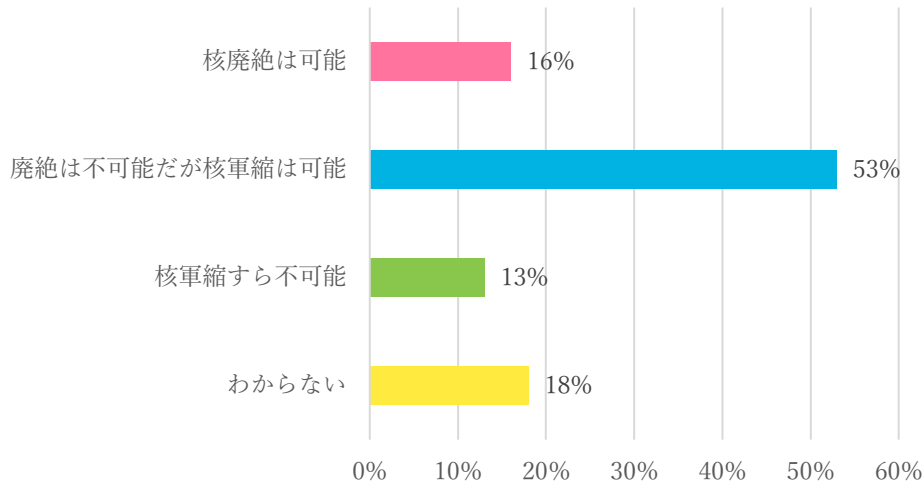
- 必ずあると思う
- ありうと思う
- ないと思う
- 絶対にないと思う



昨年度と比較すると、今後の核兵器使用については「必ずある」「ありうと思う」と答えた割合は微減 81%でした。「ない」「絶対にない」と答えた割合は近年最高の 19%でしたが、核への危機認識は高まっています。「アメリカ政権、北朝鮮を取り巻く環境の影響を懸念している」との声が寄せられました。

## Q5

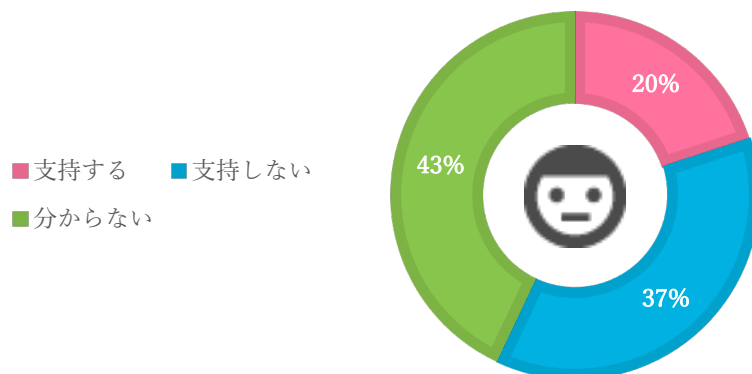
(現在地球上に約1万5000発あると言われている)核兵器は廃絶可能と思いますか。



53%の学生が「廃絶は不可能だが軍縮は可能」と回答。学生の過半数は、世界のリーダーに、賢明な核軍縮を求めている実態が浮かび上がりました。

## Q6

核兵器禁止条約に日本は署名しませんでした。あなたは日本政府の立場を支持しますか。

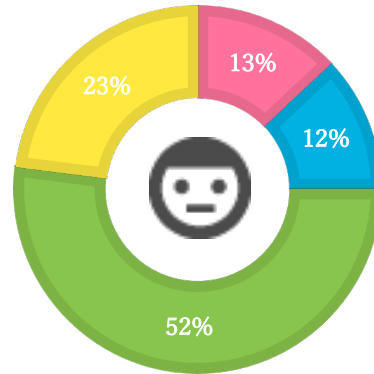


「分からない」と答えた人が43%を占めました。その理由として、メディアを通し様々な意見を持っているため、決められない実態が浮かび上がりました。

## Q7

### ICAN のノーベル平和賞受賞理由は？

- 北朝鮮をはじめ核兵器使用の可能性が高まった
- 「冷戦思考がない世代」（若者）が先導した
- 核兵器禁止条約を先導した「画期的な努力」
- 約100カ国に及ぶNGOの連合体であった



核兵器禁止条約を先導したことは学生世代に大きな影響を与えたことがわかりました。また組織の構成として国を超えたNGO組織の連合体であることにも注目が集まっていることも伺えます。